

『人相学から見た経営チャンスと 人を見極めるコツ』

●講師

有限会社 占いの玉手箱

代表 竹村亜季子氏
あきこ

女性部会では、9月13日 中産連ビルにて竹村亜季子氏を講師にお迎えし、教養研修会を開催いたしました。

竹村先生は、一時OL生活をされた後、占い師として独立され、昭和63年の岐阜未来博「世界占い館」の企画に携わり成功されたと伺っております。占いをビジネス化することを早くから考えられ、現在ではスタッフ40名を抱える会社の代表であり、新聞・雑誌・テレビ等で幅広く活躍されておられます。

はじめに、人相学における顔の各部位による性格判断のお話から始まりました。顔は、その人の属している社会であり、鼻は自分自身を表すもので、鼻の幅の広い人は、しっかりとした土台のもとに地位を得ていると説明をされ、参加者の顔をじっとのぞき込むようにして、題材となる特徴のある方を会場の中

から選び、それぞれ例をあげて面白く解説されました。先生の親しみやすい明るい口調で、会場は笑いで和やかな雰囲気となりました。

また、顔は自分の身体を表しているのです。鼻の骨の曲がっている人は、背骨も曲がっていて、それは事故などにより後から曲がってしまった場合でも、鼻の形に現れるとのことでした。

客観的に自分の顔をボーッと見る習慣をつけて、顔の色艶・しわ・傷等により健康状態を知り、病気を発見できることや、私たち女性にとって気になる婦人病のお話などとても興味深い内容でした。

経営に人相を生かすには、額のしわ・目・眉などから判断して、その人に向いた仕事を考えて、部下のやる気を出させることが大切であり、また、自分の人相から判断して、欠